

公益社団法人日本新体操連盟
平成 27 年度第 2 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 27 年度第 2 回理事会
2. 日時： 平成 27 年 12 月 18 日（木）18 時 30 分～20 時 00 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「霞会館」
4. 構成員現在数： 15 名
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長）石崎 朔子（副 会 長）関田史保子（副 会 長）
福本 隆（副 会 長）池田真喜子（専務理事）渡辺 守成（常務理事）
秋山エリカ（理 事）崇島 慎一（理 事）谷口 裕代（理 事）
橋本 千波（理 事）宮嶋 泰子（理 事）守永 直人（理 事）
以上 12 名
6. 欠席役員： 山崎 浩子（常務理事）岡 久留実（理 事）谷原 誠（理 事）
小島浩二郎（監 事）
以上 4 名

7. 報告事項

7. 議案：
- | | |
|---------|-----------------------------------|
| 報告事項 1 | 平成 27 年度実施事業について（定款第 4, 12 条関連事項） |
| 決議事項 | |
| 第 1 号議案 | 平成 28 年度事業予定について（定款第 4, 12 条関連事項） |
| 第 2 号議案 | 中体連大会要請について（定款第 4 条関連事項） |
| 第 3 号議案 | A G G について（定款第 4 条関連事項） |
| 第 4 号議案 | 指導者認定について（定款第 4 条関連事項） |
| 第 5 号議案 | その他 |

8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

(公社)日本新体操連盟・定款第 30 条第 2 項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を二木会長と福本副会長と橋本理事にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第 31 条の定めにより、理事会出席者数が 12 名であることが池田真喜子理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、池田理事が進行を務めるよう依頼した。

(5) 報告事項

報告事項1 平成 27 年度事業報告について(定款第 4,12 条関連事項)

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 第 24 回全日本新体操クラブ選手権について

日程:8 月 21 日～23 日

開催場所:東京体育館

参加者数:241 クラブ 723 名

2. 第 15 回全日本新体操クラブ団体選手権について

日程:9 月 26 日～27 日

開催場所:東京体育館

参加者数:126 クラブ 798 名

3. イオンカップ 2015 世界新体操クラブ選手権について

日程:10月2日～4日

開催場所:東京体育館

参加者数:23の国と地域 25クラブ 75名

平均視聴率:2.4%

4. 第16回日本新体操祭について

日程:10月3日

開催場所:東京体育館

参加者数:49クラブ 1439名

にて開催した。各大会で遅刻、ルール違反等マナーの低下と言えるようなことが多かった。新体操祭では今回チームを多く受け入れたが、来年は系列クラブをまとめてもらうようにする。

(質疑・意見)

福本理事より、テレビの視聴率はフジテレビが最後のチャンネルになった影響があると意見があった。

以上全会一致で事業報告1「平成27年度事業報告」は承認された。

(5)議決事項

第1号議案 平成27年度事業予定について(定款第4,12条関連事項)

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 平成27年度の事業を下記の通りで開催する予定である。オリンピックの影響を考え日程が通年より早まっている。

第25回全日本新体操クラブ選手権 7月22日～24日 千葉ポートアリーナ

第16回全日本新体操クラブ団体選手権 8月20日～21日 東京体育館

イオンカップ2016世界新体操クラブ選手権 9月9日～11日 東京体育館

第17回日本新体操祭 9月10日 東京体育館

第19回全日本新体操チャイルド選手権 2月24日～26日 東京体育館

(質疑・意見)

質疑・意見は無かった。

以上の質疑、意見の後、第1号議案「平成28年度事業予定について」は全会一致で承認可決された。

第2号議案 平成28年度中体連大会について(定款第4条関連事項)

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

平成28年度の全国中学校体育大会における「第47回全国中学校新体操選手権大会」の日程が本連盟主催大会「全日本新体操クラブ団体選手権」と重なる事となった。

中体連より、「全日本新体操クラブ団体選手権」の日程を調整して欲しいと依頼があった。

状況としては

- ・8月20日土曜日が中体連の団体競技日、クラブ団体選手権の開会式及び競技1日目となる。
- ・中体連大会のエントリー締め切りは大会1週間前の8月12日となっている。
- ・クラブ団体選手権の演技順抽選会は7月中旬のため、中体連を待ってからの演技順変更は難しい。
- ・受け入れる場合は事前に中体連参加予定チームを聞いて、抽選会の前に調整することとなるが、参加予定チーム全てを聞くと21日日曜の演技枠に予定チーム全てを受入れられるか

わからない。

(質疑・意見)

石崎副会長より、中体連大会では学校の成績にも関係すると意見があった。

池田理事より、昨年の上位チームのみへの優遇制度を設けてはどうかと意見があった。

渡辺常務理事より、主管の福井県に日程調整の要望を出して調整してもらうことを考えてはどうかと意見があった。

秋山理事より、中体連大会では18日の開会式の日に関体競技を行うことが可能なのではないかと意見があった。

以上の質疑、意見の後、第2号議案「中体連大会要請について」は中体連側に状況を説明し、中体連のタイムスケジュールを変更してもらうよう要望を出すことで、全会一致で承認可決された。

第3号議案 AGGについて(定款第4条関連事項)

議長は説明者として石崎朔子理事を指名し、石崎理事は下記内容の説明を行った。

AGGはフィンランドに国際連盟本部を置き、ワールドカップ、世界選手権大会が開催されている。競技自体は新体操団体の徒手演技のような競技で、新体操の愛好者増につながるため日本新体操連盟の傘下に入り競技を統括し、大会を開催したい。

(質疑・意見)

池田専務理事より、連盟事務局で運営を行うのか、実務は誰がやるのかと質問があった。石崎副会長より、日本体操協会の委員会のように部員でやってはどうかと回答があった。

宮嶋理事より、日本体操協会にもAGGを作るのかと質問があった。石崎副会長よりそこまで先の事はまだ考えていない。

秋山理事より、他の競技とは別でAGGは新体操の愛好者ができ、AGGの愛好者も新体操を出来る競技なのでメリットがあるのではないかと意見があった。

渡辺常務理事より、現在存在する日本AGG連盟準備委員会が解散し、他で受け持つところが無いという状況であれば、受入れも可能かと思うが、準備委員会が残る形だと後に軋轢が生じる恐れがあるのではないかと意見があった。

秋山理事より、ロシアでは新体操からこぼれた子がやっているイメージがある。すみわけをしっかりとしないと新体操の軸がぶれる可能性があるかと意見があった。

以上の質疑、意見の後、第3号議案「AGGについて」は日本AGG連盟準備委員会が存続せず、他で受け持つところが無いという状況であれば受入れを対処することで、全会一致で承認可決された。

第4号議案 指導者認定について(定款第4条関連事項)

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

指導者認定について前回日本体育協会の公認コーチ制度を生かすよう指示があり、公認コーチ資格を持っている方は、その所持資格によって専門科目を免除する制度と変更した。

(質疑・意見)

宮嶋理事より、ドイツではコーチは国家資格であり、日本にはなくやろうと思えば誰でもやれる状況があると意見があった。

石崎理事より、体育協会ではコアカリキュラムがあり、内面を育てるカリキュラムがある。ただ敷居が高いので、足がかりとなる制度を設け、その制度を大会出場資格としてはと意見があった。

池田理事より、体育協会のコーチ制度をあっせんするだけではなく、独自のものを設けたいと思うと意見があった。

渡辺理事より、チャイルド選手権こそ大会出場資格制度を設けるべきと意見があった。
宮嶋理事より、日本の指導者育成システムが構築されていないために作ったのがコアカリキュラムである。日体協と協力コラボするべきであると意見があった。

渡辺理事より、サッカー協会のシステムは充実している。サッカー方式を目指すべきだと意見があった。

石崎理事より、日体協もシステム、目標は素晴らしいが、ハードルが高いので、導入部分を独自で作るのは賛成だと意見があった。

以上の質疑、意見の後、第4号議案「指導者認定について」は大会出場資格を統一し、継続審議とすることで、全会一致で承認可決された。

第5号議案「その他」について

宮嶋理事より、イオンカップの会場装飾について演技中の選手がテレビ、写真の写り映えがするような装飾方法の変更を提案された。

池田理事より、入場口の位置を含め検討するとあった。

議長は議場にその他議案が無いか確認したがその他の議案は出なかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 27 年 12 月 18 日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成 27 年度第 2 回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 福 本 隆

同 橋 本 千 波